

# 森のおくりもの7月



アオカナブン (コガネムシ科)



写真：黒川周子（レンジャー）

梅雨が明ければ、いよいよ本格的な夏に突入です。蝶やトンボなどの多くの虫たちと、ヤマユリなどの夏の花々の季節です。しかし、ここにきて今年は少々気がかりなことがあります。それは、この森の夏の人気者、オオムラサキが見られないのではないかとということです。春からこれまで幼虫が見当たりません。はたして飛ぶのでしょうか。ともあれ、こんな心配をよそに、自然観察の森は確実に真夏に向かって変化し続けております。ぜひ、真夏の森の魅力をお楽しみいただければと願っております。 【館長 菊池正行】

# けっこう長生き セミの幼虫



夏といえば、私はセミの鳴き声が思い浮かびますが、**セミの幼虫**については、知らないことが多いようです。よく質問されるのは、「セミの幼虫は、どこで孵化するの？いつ生まれるの？何を食べているの？」などです。

セミのメスは、枯れ木に産卵します。卵が孵化する時期は種類によって違います。ニイニゼミはその年の秋に孵化しますが、その他多くのセミは次の年の梅雨の頃に孵化します。そして、土の中にもぐりこみ木の根に沿って穴を掘り、根っこに針のような口吻を差し込んで樹液を吸います。もしかしたら、雨の日に白い小さな幼虫の姿が見られるかも？

## 大きなカマ(ツメ)は何のため？

卵から孵化した幼虫が、樹の根に沿って穴を掘るために便利なんだね。  
また、羽化のとき落ちないようにしっかりと枝や葉にひっかけるためにも大きな爪は大切です。

■触角は種類を見分ける大事なポイント。幼虫の触角は太くて大きい。大人になるととても細くて小さくなるよ。



ニイニゼミ : 3 ~ 5年  
アブラゼミ &  
ミンミンゼミ : 2 ~ 4年

\* ヒグラシ・エゾゼミについてはよくわかっていない。

## 幼虫の期間

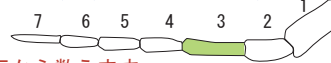
■ 幼虫の中脚は、穴から出やすいように、背中側に大きく動くようになっている。

## ★アブラゼミとミンミンゼミの見分け方

- 大きさ : 2.5cm ~ 3.2cm
- 触角 : 2節目と3節目の長さ  
同じぐらい → ミンミンゼミ。



違う → アブラゼミ。



\* 触角は根元から数えます

## 抜殻で種類を見分けよう！

## ★ヒグラシとツクツクボウシの見分け方

- 大きさ : 2.4cm 以下
- 体の色 : 薄くマットなかんじ  
→ ツクツクボウシ  
濃くつやがある → ヒグラシ

その他

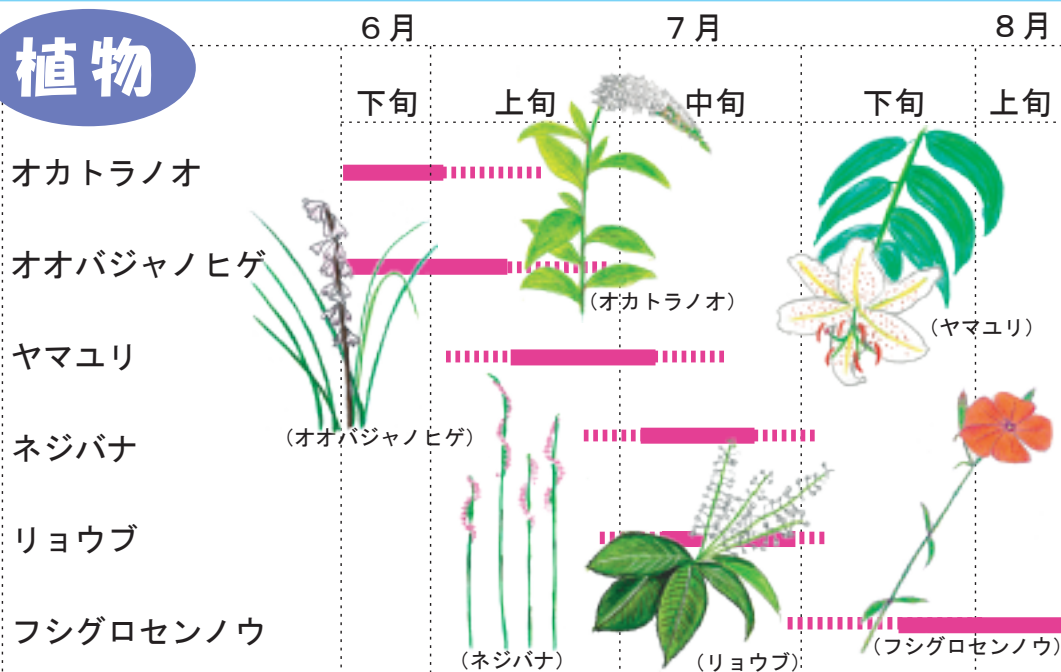
- 大きい。(3.3cm以上。)  
→ エゾゼミ
- 丸く小さく泥がついている  
→ ニイニゼミ

【レンジャー：黒川周子】

\* セミの成虫の命は7日間と言われることもありますが、実際は外敵に襲われない限り、約1か月生きた記録があります。(飼育下では1か月以上の記録もあります。) 幼虫期間も合わせると虫の中では長寿ですね。

# 7月の生物ごよみ

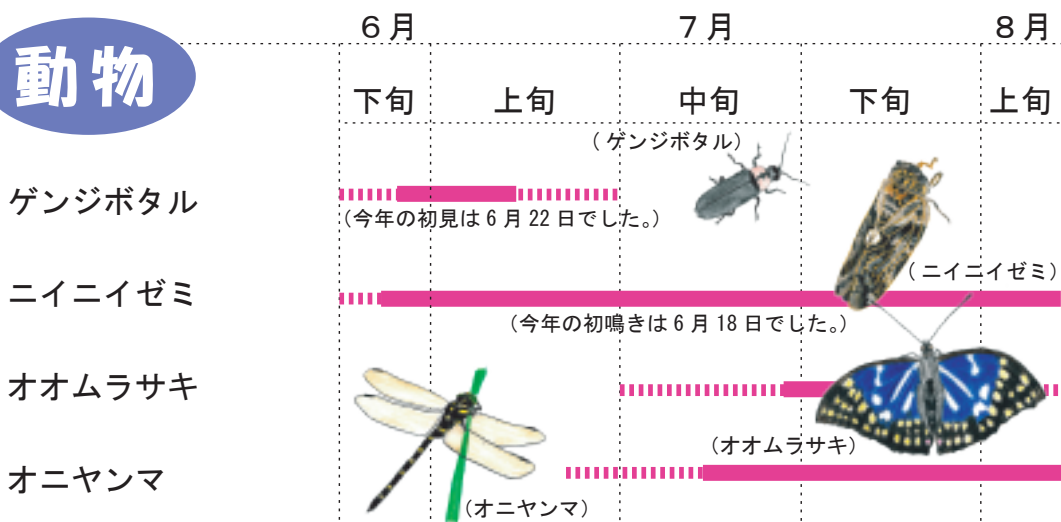
## 植物



6月5日、ヤマツツジの丘を巡回中に小さな穴からセミの幼虫が這い出てくるのを見つけました。ちょっと大き目で目が赤い。調べたところエゾゼミの幼虫でした。エゾゼミが昨年鳴いたのは7月23日。この子は1ヵ月以上早めに出てきてしまったようです。

この森で一番早く鳴き声が聞かれるニイニイゼミも6月18日と昨年と比べ10日ほど早く聞くことが出来ました。

## 動物



【レンジャー：齋 正宏】

このコーナーでは、森の中で見つけたかわいいものや不思議なものなど、ちょっと気になるあれこれを取り上げていきたいと思ひます。

## はっけんメモ その14

### 『ぐるぐるお花のらせん階段～ネジバナ～』

夏になると日当たりのよい原っぱや芝生などに咲くネジバナ（捩花）。観察の森では芝生広場で7月中旬ころに咲き始めるようです。その名の示す通り、5mmほどの小さな花を、花茎の周りをぐるぐる回るらせん階段のような形に連らせて横向きに咲きます。

背丈が15cmほどしかないので、原っぱや芝草の中で咲く花を遠くから見つけるのは少し難しいかもしれません。でも、緑の草の中でピンク色の花をたくさんつけた花茎がすっと伸びている姿は、夏の暑い日をさわやかな気分させてくれます。



【ネジバナ（捩花）】別名：モジズリ、ネジリバナ、ネジリンボウ等  
 分布：東アジア  
 ラン科の多年草  
 草丈：15cm～30cm  
 花色：淡紅色～白色

ネジバナは蘭の仲間なので、小さな花でもよく見ると律儀にラン科の花特有の形（外側に萼片が3枚、内側に花弁が3枚ついている）をしています。

写真に写っているのは外側にある3枚のピンク色の萼片と、花の下部に見える縁が波打っている白い花弁が一枚（唇弁と呼ばれる一番下についている花弁）。

一般的にラン科の花は菌類と共生して成長しています。ネジバナが草地の中で見つかることが多いのは、おそらく草地の中にある菌類と共生しているから。

身近な場所に自生している蘭の仲間”ネジバナ”。あなたの家の庭や、近くの公園、河原の土手などにも咲いているかもしれませんよ。

【レンジャー：河合 遥】



## 新人レンジャーの観察日記



今年梅雨入りがだいぶ遅かったので早く本格的な夏が来ないかなあと  
思っている今日この頃です。夏といえば太白山観察の森でも夏の風物詩であ  
るホタルが舞うようになりました。私が子供のころはホタルはまだ身近な存  
在でしたが、いまではよほど場所を選ばないとなかなかその姿は見られな  
くなりつつあります。夜に綺麗な色の光を放つ様は神秘的でもあり見とれてし  
まいますが、そもそも何故ホタルは発光するのでしょうか？鳥のさえずりの  
ような求愛行為かホタルの仲間同士の通信手段の一つなのでしょうか？一説  
には外敵から身を守るための警戒色とも言われているようです。個体数は少  
ないですが園内ではゲンジボタルも夜間に見ることができました。

ゲンジボタルの発光の目的  
はまだ謎の部分もあり特定は  
難しいようです。ただ発光の  
メカニズムはかなり解明され  
いて、ホタル自体が持つ成分  
同士が化学反応し発光するの  
で、熱効率がとてもよく熱を  
出さない冷光と呼ばれるのも  
そのためです。まるでLED  
電球のようですね。



【ヨシの湿地のゲンジボタル】

ホタルの成虫の寿命はわずか1週間か2週間程度で終えてしまいます。そ  
のとても短い間に種を残す大切な相手を見つけ小さな命を閉じます。そう考  
えるとホタルの残す淡い光跡は彼らの生きた確かな証しでもあるのです。彼  
らは決して見ることもない子孫に命のバトンタッチをしていきます。儚さ  
というより、その生き様に小さな生命の強さを感じてしまい、園内のトンボの  
沢で深夜見かけたヒメボタルをぼんやりと目で追いかけていました。



【レンジャー：阿部正明】



# 7月

## のイベント&お知らせ

### ◆『キッズ昆虫たんけん隊』 7月11日(土) 10:00～12:00

・昆虫を探して捕まえ、じっくり観察してスケッチしてみよう!

【定員】定員:小学生15名 【料金】無料

【持ち物】長袖長ズボン・雨具・捕虫網・帽子・虫よけ・飲み物など

【申込み】7月7日(火) 9:00より電話で受付〔先着順〕

### ◆『夜の森の観察会』 7月11日(土) 19:00～20:30

・夕暮れから暗闇に移る時間。いつもと違う暗い森で観察会を開きます。

【定員】定員20名 【料金】無料

【持ち物】長袖長ズボン・長靴・雨具・懐中電灯・虫よけなど

【申込み】7月8日(水) 9:00より電話で受付〔先着順〕

### ◆『キノコと森の不思議観察会』 ① 7月15日(水) 10:00～11:30

・キノコと森の不思議な関係に迫ります。② 7月18日(土) 10:00～11:30

【定員】定員20名 【料金】無料

【持ち物】長袖長ズボン・雨具・帽子・虫よけ・飲み物など

【申込み】日程①、②ともに7月9日(木) 9:00より電話で受付〔先着順〕

### ◆『やってみよう! 自然観察&植物標本作り』 7月25日(土) 10:00～12:00

・原っぱで好きな植物を採取して、葉脈標本と押し葉の作品作りをします。

【定員】定員15名 【料金】無料

【持ち物】長袖長ズボン・雨具・捕虫網・帽子・虫よけ・飲み物など

【申込み】7月16日(木) までにEメールまたは往復はがきで〔抽選〕

毎週  
日曜は

### 『ガイドウォーク』の日!

7月の開催日は

5日、12日、19日、26日です。

開催時間:午前 10:00～11:30

午後 13:30～15:00

◎26日の午後は、自然観察センター館長がご案内します。  
申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



表紙の絵や  
原稿を募集  
しています。

里山や自然に関するものを  
描いて(書いて)ね!  
レンジャーからのプレゼント  
があるよ!!

イベント申込用



7月の休館日

6日、13日、  
21日、27日

### ♪森へおいでください♪



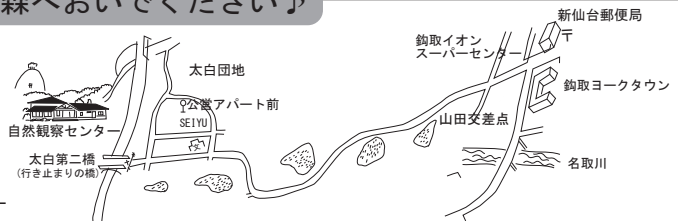
#### 宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅から  
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り  
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



#### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



スタッフBLOG開始しました!  
自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」  
バックナンバーはWebでチェック!

2015年7月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター  
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail:taihakusan\_moushikomi@sendai-green-association.jp

「社のひろば」URL:<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>